

通常学級における特別支援教育に資する
「連携スキル」研修カリキュラムの開発をめざして

1 事業の目標	通常学級における特別支援教育を効果的に実践するための連携スキルの向上に資する研修カリキュラムを開発し、展開する。
2 事業の期間	平成28～令和3年度までの6年間
3 事業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ✓平成28年度 連携事例の収集（連携スキルを明確化するための資料とする） ✓平成29年度 連携支援の構築と活用（これを連携事例として収集する） ✓平成30年度 連携スキルの明確化（これに関わる連携事例を収集する） ✓令和元年度 連携スキル研修カリキュラム開発 ✓令和2年度 研修カリキュラムの改良と実施 ✓令和3年度 研修カリキュラムの実践報告と手引き作成
4 連携事例	<p>● 通常学級における特別支援教育を効果的に実践するための 連携スキルに関する探索的研究</p> <p>岩手大学教育学部プロジェクト推進事業 教育実践研究論文集 第9巻 (https://iwate-u.repo.nii.ac.jp/)</p> <p>(第19報) 通常学級における特別支援教育に資する連携ツールとしての「引継ぎシート」を作成・活用した医療と教育の連携事例</p> <p>(第20報) 附属学校特別支援教育連携専門委員会事業の成果と展望 — 通常学級における特別支援教育の効果的な連携実践を求めて —</p> <p>● 個別の指導計画作成に資する「後方視的対話」を用いた研修プログラムの評価—受講者の教育現場経験が研修の学びに与える影響—</p> <p>岩手大学大学院教育学研究科研究年報 第6巻 (https://iwate-u.repo.nii.ac.jp/)</p>
5 その他の 関連事業	<p>令和3年度には、下記によって連携状況に関する情報交換等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 特別支援教育セミナーの開催（9回、関係機関主催事業への協力による） (2) 県内各地「特別支援教育コーディネーター連絡会」等への陪席（9回） (3) 附属学校、県内公立学校への訪問（59回）

6年間にわたり、本事業にご協力をいただきました岩手県教育委員会様をはじめとする関係機関、関係の皆様へ感謝申し上げます。

令和4年3月31日
附属学校特別支援連携専門委員会 委員長 佐々木 全